

2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価

(名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

①調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

②調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む18～79歳の男女1,143名（名古屋市を除く）

③調査日時

平成29年3月21日（火）～26日（日）

④サンプリング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性別・年齢別の人口割合を元に、各カテゴリーのサンプル数を求めた（下表参照）。

インターネット調査の対象者

	男性								女性								合計
	男性計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	女性計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
東海	74	2	12	17	10	12	13	8	76	6	9	6	14	13	17	11	150
関東	197	5	28	33	38	33	35	25	195	5	27	33	38	27	36	29	392
近畿	87	0	14	15	18	13	14	13	86	1	13	15	13	10	18	16	173
北陸・甲信越	37	2	6	4	8	6	5	6	39	2	6	7	3	6	9	6	76
東北・北海道	63	1	9	9	12	11	12	9	70	1	9	11	12	12	14	11	133
中国・四国	48	1	7	8	8	9	8	7	50	0	7	7	10	8	9	9	98
九州・沖縄	54	2	5	9	10	9	11	8	67	1	9	10	12	11	14	10	121
合計	560	13	81	95	104	93	98	76	583	16	80	89	102	87	117	92	1,143

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

東 海—愛知県（名古屋市を除く）・岐阜県・三重県・静岡県
 関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北 陸—福井県・石川県・富山県
 甲信越—新潟県・長野県・山梨県
 東 北—青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中 国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四 国—香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九 州—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

①名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

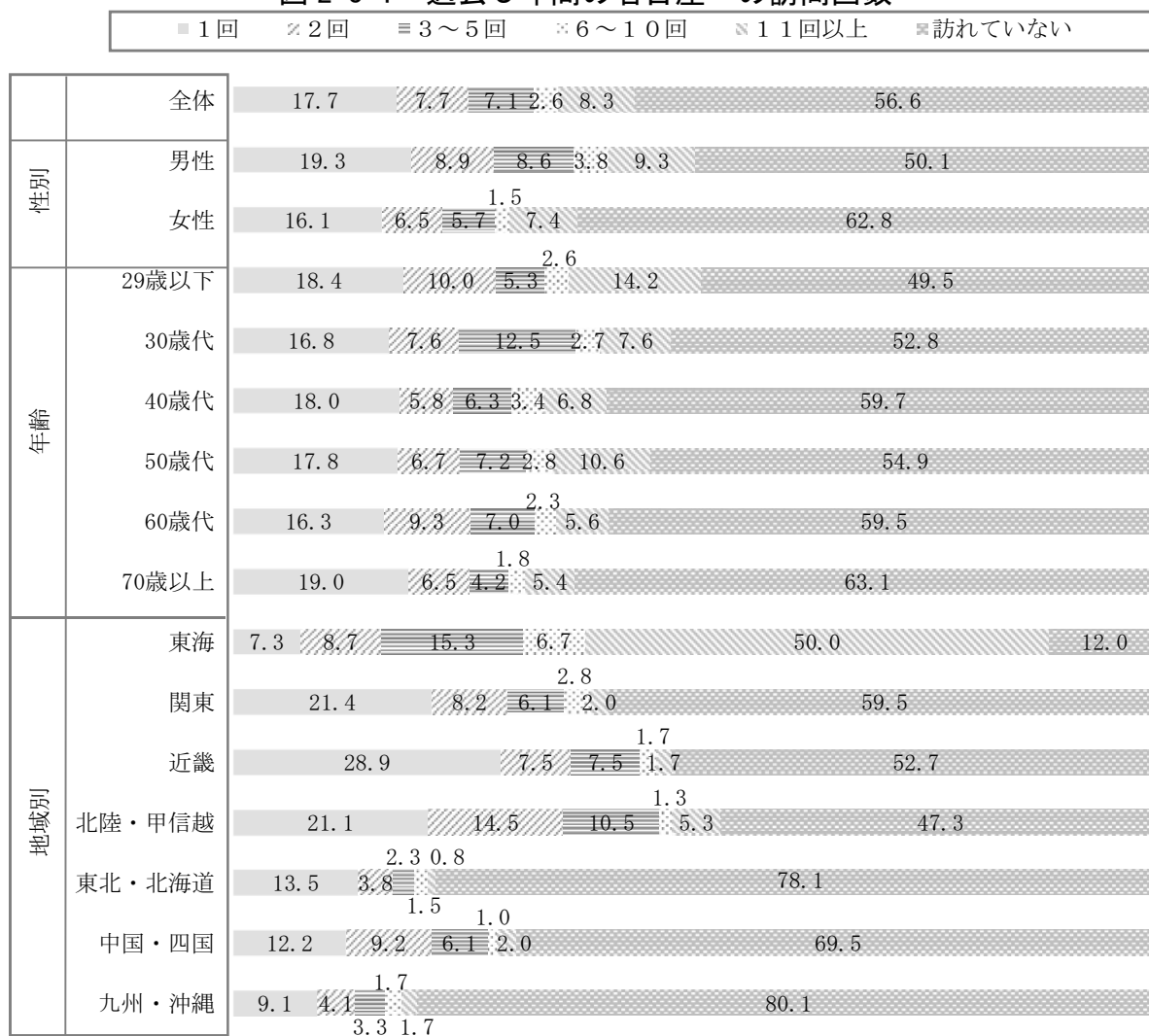
過去5年以内に名古屋を訪れた事がある人は有効回答者1,143人中496人で、割合は43.4%だった。訪問回数としては、「1回」が17.7%と多く、次いで「11回」「2回」「3～5回」の順となっている。

性別にみると、男性は訪れた割合が49.9%と半数近くを占め、女性より12.7ポイント高い。年齢別にみると、訪れた割合は29歳以下の世代で50.5%と比較的高くなっている。

地域別にみると「東海」では約9割が訪れており、うち「11回以上」が5割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは「北陸・甲信越」で半数以上となっている。

訪問回数は、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高い。

図 2-3-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



②名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で最も認知度が高いのは「名古屋城」で、87.8%が「知っている」と回答した。次いで「なごやめし」（55.9%）、「熱田神宮」（47.2%）、「東山動植物園」（47.2%）、「栄」（36.1%）となっている。

「名古屋城」は全ての層で最も認知度が高い観光資源である。

年齢別にみると、「全体」で認知度が高い「名古屋城」「熱田神宮」「東山動植物園」は年齢が高くなるほど認知度が増す傾向がある。

地域別にみると、「東海」の認知度が全般に高い。「東海」以外の地域は概ね「全体」と同じ傾向にある。

表 2-3-1 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館（プラネタリウムなど）	名古屋美術館	名古屋博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シボートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし 武将隊	その他	知っているものはない	
全体		87.8	14.3	22.1	47.2	21.4	23.7	16.5	16.9	13.7	10.8	25.4	47.2	36.1	20.3	2.7	8.5	55.9	9.6	8.8	12.3	0.6	7.6
性別	男性	87.5	15.2	22.7	50.5	25.7	27.5	16.6	17.1	14.6	11.6	27.7	49.1	41.4	22.3	3.2	8.9	53.9	10.4	8.8	12.5	0.7	7.5
	女性	88.0	13.6	21.6	43.9	17.3	20.1	16.5	16.6	12.9	10.1	23.2	45.5	31.0	18.4	2.2	8.1	57.8	8.9	8.9	12.2	0.5	7.7
年齢別	20歳未満	86.2	13.8	17.2	24.1	27.6	31.0	20.7	27.6	31.0	24.1	27.6	37.9	31.0	27.6	10.3	17.2	34.5	24.1	24.1	20.7	0.0	6.9
	20歳代	78.9	13.0	14.3	26.1	22.4	24.2	13.0	19.9	13.7	10.6	24.2	29.8	29.8	15.5	3.7	5.6	42.2	10.6	11.2	14.9	0.0	13.7
	30歳代	81.0	13.0	19.0	33.7	22.8	22.3	16.3	17.9	12.0	10.9	26.6	40.2	35.9	21.7	4.3	6.5	49.5	8.7	10.9	10.9	0.0	12.5
	40歳代	91.3	8.7	17.0	38.8	18.4	22.3	16.0	15.5	10.7	7.8	22.8	44.7	38.8	20.9	2.4	6.3	61.2	7.3	7.3	13.1	1.0	6.3
	50歳代	90.6	13.9	20.0	52.8	28.9	26.7	19.4	20.6	17.2	13.9	29.4	53.3	41.1	21.1	0.6	10.6	65.6	8.9	7.2	11.7	0.6	3.9
	60歳代	90.7	16.3	27.0	61.4	22.3	22.8	17.7	13.0	12.1	8.8	25.1	55.3	37.2	20.5	1.4	9.3	60.5	9.8	7.9	11.6	0.5	4.2
	70歳以上	92.9	22.0	36.3	72.0	12.5	23.2	15.5	13.7	14.9	11.9	23.8	59.5	33.3	20.2	3.0	11.3	57.1	10.7	6.5	10.7	1.8	6.5
居住地	東海	94.0	42.7	49.3	87.3	62.0	48.0	54.7	68.7	49.3	38.0	72.0	85.3	80.0	72.0	8.7	40.0	75.3	38.7	43.3	55.3	0.7	4.0
	関東	86.0	10.5	19.6	44.1	17.3	20.7	11.7	8.4	8.7	7.4	18.1	42.3	30.1	14.5	2.6	4.8	54.3	5.9	4.1	5.9	1.3	9.2
	近畿	88.4	11.0	19.1	48.0	24.3	22.0	15.0	11.0	9.8	8.7	20.8	44.5	37.6	18.5	2.3	4.6	54.9	7.5	4.0	7.5	0.6	5.2
	北陸・甲信越	86.8	9.2	23.7	42.1	17.1	27.6	13.2	19.7	9.2	7.9	30.3	56.6	36.8	15.8	0.0	1.3	52.6	3.9	1.3	6.6	0.0	7.9
	東北・北海道	84.2	11.3	16.5	33.1	6.8	15.8	9.8	8.3	8.3	5.3	19.5	32.3	24.1	3.8	0.8	2.3	49.6	4.5	2.3	3.8	0.0	8.3
	中国・四国	84.7	14.3	17.3	30.6	13.3	21.4	9.2	7.1	9.2	7.1	17.3	31.6	17.3	7.1	3.1	4.1	48.0	6.1	8.2	11.2	0.0	10.2
	九州・沖縄	91.7	3.3	9.9	38.0	5.8	14.0	2.5	4.1	4.1	2.5	7.4	43.0	27.3	9.1	0.0	1.7	53.7	0.8	0.8	0.8	0.0	7.4

b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れたと回答した回答者（496人）が訪問または経験したものではありません「名古屋城」（40.9%）の割合が最も高く、それに「なごやめし」（43.1%）、栄（31.7%）、「熱田神宮」（24.6%）、大須（20.2%）と続く。一方、「訪問した場所、または経験したものはなし」の割合は18.3%だった。

上記の観光資源の訪問・体験状況に関しては男女共に同様の順位だった。一方で、「リニア・鉄道館」「トヨタ産業記念館」は男性が多く、「徳川園」「名古屋市科学館」「名古屋市美術館」は女性が多い傾向があった。

年齢別にみると、多くの観光地で20歳未満の訪問率が高くなっている。

地域別にみると、「名古屋城」「名古屋めし」「熱田神宮」は、「東海」居住者・その他の地域の居住者共に訪問率が高い。「名古屋市科学館」「名古屋港」「大須」は、「東海」での割合は高いが、その他の地域では10%程度以下となっている。

表 2-3-2 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、ボートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪問した場所又は経験したものはなし	
全体		40.9	9.7	11.7	24.6	10.1	9.9	9.3	10.9	7.3	4.8	16.1	17.1	31.7	20.2	3.2	5.6	43.1	5.4	4.8	5.0	2.8	18.3
性別	男性	39.8	8.6	10.4	22.9	11.5	11.8	9.0	9.0	5.7	4.7	14.7	15.4	33.3	19.7	3.2	6.1	43.0	5.4	6.5	6.5	2.2	17.6
	女性	42.4	11.1	13.4	26.7	8.3	7.4	9.7	13.4	9.2	5.1	18.0	19.4	29.5	20.7	3.2	5.1	43.3	5.5	2.8	3.2	3.7	19.4
年齢別	20歳未満	41.2	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	35.3	29.4	29.4	23.5	29.4	41.2	41.2	17.6	23.5	47.1	23.5	17.6	29.4	0.0	11.8
	20歳代	44.3	10.1	8.9	21.5	8.9	10.1	8.9	13.9	6.3	6.3	5.1	16.5	31.6	21.5	3.8	6.3	35.4	7.6	5.1	6.3	0.0	17.7
	30歳代	34.5	5.7	10.3	21.8	12.6	8.0	11.5	8.0	5.7	5.7	5.7	21.8	31.0	14.9	4.6	4.6	37.9	4.6	5.7	8.0	1.1	26.4
	40歳代	41.0	7.2	9.6	28.9	18.1	10.8	9.6	14.5	3.6	3.6	2.4	21.7	28.9	21.7	2.4	8.4	50.6	4.8	7.2	6.0	3.6	16.9
	50歳代	30.9	3.7	2.5	21.0	1.2	6.2	4.9	6.2	1.2	1.2	1.2	9.9	42.0	24.7	0.0	2.5	49.4	2.5	3.7	1.2	4.9	16.0
	60歳代	43.7	11.5	19.5	24.1	9.2	6.9	8.0	6.9	12.6	12.6	4.6	11.5	28.7	16.1	2.3	4.6	41.4	3.4	2.3	1.1	4.6	21.8
	70歳以上	54.8	19.4	17.7	32.3	6.5	16.1	9.7	11.3	9.7	9.7	6.5	19.4	24.2	17.7	3.2	3.2	43.5	6.5	1.6	1.6	3.2	9.7
居住地	東海	33.3	11.4	14.4	35.6	12.1	12.1	12.9	26.5	14.4	7.6	36.4	31.1	58.3	53.0	6.1	9.8	51.5	10.6	9.1	7.6	3.0	17.4
	関東	44.7	9.4	11.9	22.0	10.7	6.9	10.7	6.3	5.7	4.4	8.2	13.2	18.9	8.8	1.9	4.4	41.5	2.5	4.4	4.4	2.5	21.4
	近畿	42.7	6.1	9.8	19.5	8.5	9.8	4.9	2.4	6.1	4.9	9.8	9.8	24.4	7.3	2.4	6.1	41.5	4.9	2.4	2.4	2.4	15.9
	北陸・甲信越	40.0	2.5	7.5	15.0	2.5	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	10.0	15.0	32.5	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2.5	5.0	12.5
	東北・北海道	55.2	13.8	13.8	27.6	6.9	10.3	10.3	10.3	3.4	3.4	10.3	3.4	17.2	3.4	3.4	3.4	34.5	3.4	3.4	3.4	0.0	20.7
	中国・四国	46.7	20.0	16.7	13.3	23.3	20.0	13.3	10.0	6.7	6.7	13.3	16.7	13.3	6.7	6.7	6.7	36.7	13.3	6.7	13.3	3.3	20.0
	九州・沖縄	29.2	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	33.3	8.3	0.0	0.0	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2	16.7

(3) 名古屋に対する評価

a. 名古屋への今後の訪問意向

名古屋への今後の訪問意向は、「機会があれば訪れたい」が60.4%で最も高い。これに「是非訪れたい」(26.4%)を合わせて、86.8%の人に訪問する意向がある。

「是非訪れたい」「機会があれば訪れたい」を合わせた訪問する意向がある割合は、性別、年齢別、居住地別で差は見られない。

一方、「是非訪れたい」という強い意向は、年齢別では「20歳未満」が58.6%と飛び抜けて高い。それに、「20歳代」(37.3%)、「30歳代」(35.3%)と続き、年齢が若いほど訪問意向が強い傾向がある。

居住地別にみると「東海」が46.0%と最も高く、「北陸・甲信越」(30.3%)、「関東」(24.7%)と続いた。

図 2-3-2 名古屋への訪問意向



b. 訪れたい名古屋観光資源

今後の訪問意向がある回答者（992 人）が訪問したい場所または経験したいものとしては、「なごやめし」（45.6%）と「名古屋城」（44.0%）が半数弱と人気が高かった。次いで人気の高い順に「熱田神宮」（24.7%）、「レゴランド・ジャパン」（24.5%）、「東山動植物園」（24.1%）、「徳川美術館」（23.6%）、「リニア・鉄道館」（23.5%）、「名古屋港」（21.5%）となっている。

性別でみると「リニア・鉄道館」と「トヨタ産業技術記念館」は男性の訪問意向が比較的高く、「ノリタケの森」「有松」は女性の訪問意向が比較的高かった。

年齢別にみると、「20 歳未満」は多くの観光地への訪問意向を有しており、特に「名古屋市科学館」、「大須」、「文化のみち」、「有松」、「名古屋まつり」、「につぼんど真ん中祭り」、「名古屋おもてなし武将隊」は、他の年齢層と比較して訪問意向が高かった。

表 2-3-3 訪れたい名古屋観光資源（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、ボートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	レゴランド・ジャパン	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪ねたい場所または経験したいものはない
全体		44.0	19.7	23.6	24.7	23.5	18.4	16.3	16.9	14.8	11.9	21.5	24.1	17.1	13.0	7.1	8.4	24.5	45.6	11.2	7.8	5.8	1.6	4.9
性別	男性	45.1	20.6	24.9	22.9	29.8	25.7	11.2	13.9	14.3	12.4	19.6	21.6	19.4	12.4	6.9	6.5	25.9	41.2	11.6	7.6	5.9	2.2	5.7
	女性	42.8	18.7	22.3	26.5	17.3	11.4	21.3	19.9	15.3	11.4	23.3	26.5	14.9	13.5	7.2	10.2	23.1	49.8	10.8	8.0	5.8	1.0	4.2
年齢別	20歳未満	52.0	20.0	28.0	20.0	24.0	36.0	28.0	44.0	24.0	24.0	40.0	28.0	32.0	32.0	24.0	24.0	44.0	36.0	36.0	36.0	20.0	0.0	4.0
	20歳代	49.6	15.0	15.8	17.3	20.3	14.3	10.5	24.1	12.8	10.5	25.6	23.3	18.8	9.0	5.3	6.8	29.3	41.4	13.5	10.5	6.0	0.8	7.5
	30歳代	50.0	20.9	18.4	21.5	27.2	18.4	16.5	15.2	11.4	10.8	25.3	23.4	16.5	8.9	8.9	7.0	31.0	44.9	14.6	11.4	8.2	0.6	5.1
	40歳代	48.4	19.7	19.7	22.3	18.1	18.6	14.4	15.4	9.6	9.0	20.7	22.3	19.7	14.9	4.8	7.4	30.9	56.4	11.2	5.9	5.3	1.6	3.7
	50歳代	37.9	15.5	16.8	27.3	27.3	19.9	17.4	16.8	13.0	10.6	19.3	18.0	16.8	15.5	4.3	5.0	27.3	42.9	6.2	3.7	5.0	2.5	6.8
	60歳代	36.8	18.4	31.9	28.6	20.5	17.3	17.3	12.4	17.8	11.4	20.0	28.6	15.1	14.1	8.1	11.4	13.5	46.5	7.6	4.9	3.8	1.6	5.4
	70歳以上	40.8	28.9	38.0	31.0	28.9	19.0	19.7	15.5	23.9	18.3	15.5	28.2	13.4	11.3	8.5	9.9	12.0	39.4	11.3	7.0	4.9	2.8	1.4
居住地	東海	32.8	19.7	19.0	26.3	30.7	18.2	22.6	37.2	16.1	16.8	39.4	43.1	37.2	34.3	8.8	10.9	38.0	34.3	13.1	11.7	5.8	0.7	2.2
	関東	45.2	19.3	20.5	25.9	25.0	17.6	15.5	11.0	13.1	8.9	17.0	19.0	14.9	9.8	7.4	8.6	22.3	47.6	12.2	8.9	5.4	1.5	7.1
	近畿	38.5	18.2	28.4	18.2	26.4	16.2	15.5	11.5	13.5	11.5	20.9	16.9	11.5	14.2	6.1	8.1	29.1	50.0	10.1	6.1	3.4	3.4	2.0
	北陸・甲信越	37.3	14.9	23.9	22.4	25.4	20.9	20.9	26.9	25.4	19.4	32.8	22.4	14.9	10.4	3.0	3.0	22.4	49.3	14.9	6.0	6.0	0.0	3.0
	東北・北海道	52.2	21.2	31.0	26.5	12.4	23.9	13.3	16.8	17.7	15.9	21.2	24.8	16.8	9.7	10.6	8.0	19.5	47.8	8.0	7.1	6.2	2.7	5.3
	中国・四国	44.2	22.1	26.7	24.4	20.9	27.9	19.8	17.4	14.0	12.8	16.3	27.9	10.5	4.7	8.1	10.5	23.3	47.7	12.8	8.1	10.5	1.2	4.7
	九州・沖縄	57.1	21.9	21.9	27.6	18.1	9.5	9.5	10.5	11.4	5.7	10.5	22.9	13.3	5.7	2.9	6.7	15.2	41.0	6.7	2.9	6.7	1.0	6.7

c. 名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は50.5%と半数を占め、「魅力を感じない」は13.8%と1割程度である。

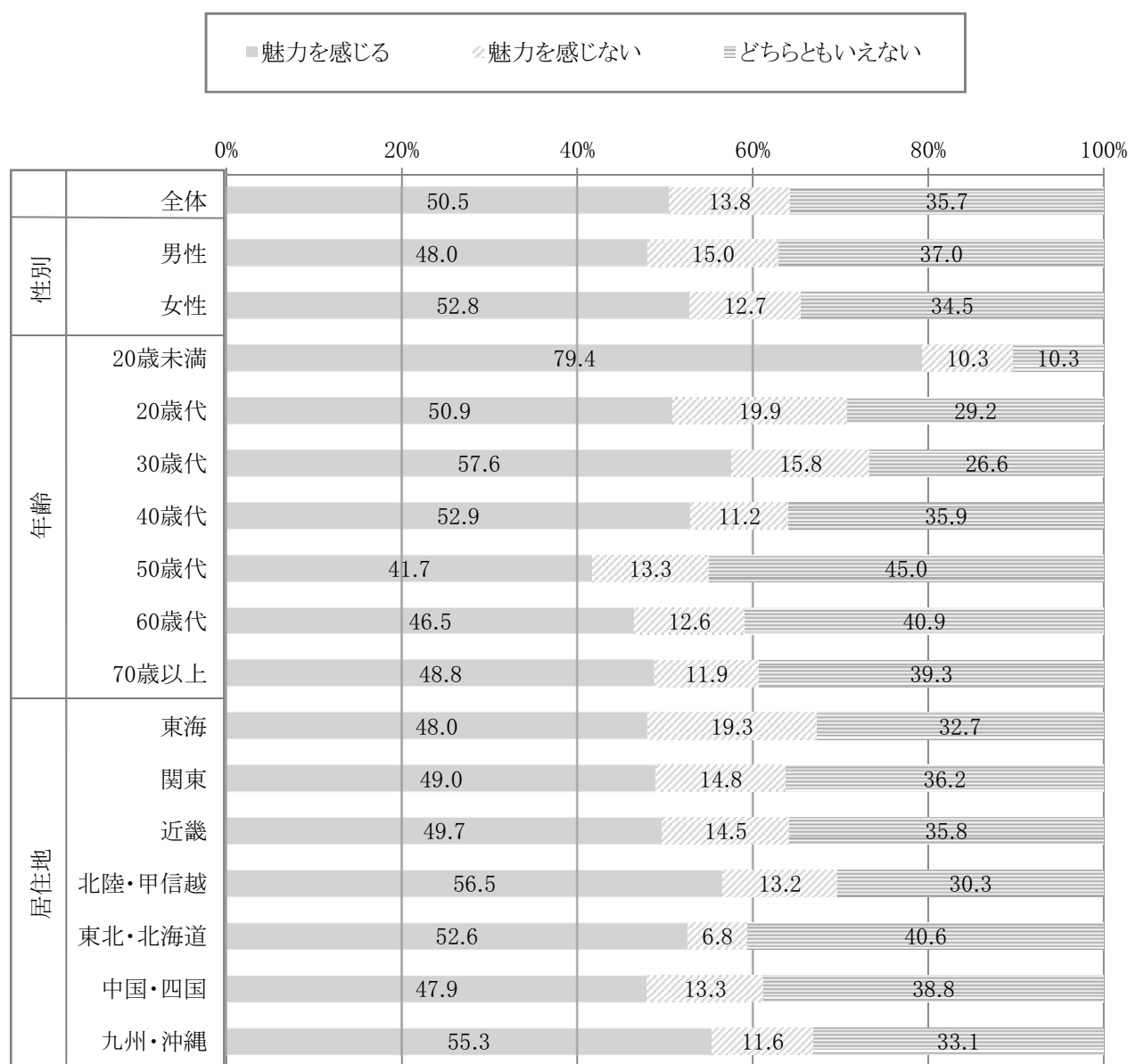
属性別にみても、すべての階層とも、「魅力を感じる」の割合は最も高く、次いで「どちらともいえない」となっている。

性別でみると、「魅力を感じる」の割合は、女性で男性より4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「魅力を感じる」の割合は、20歳未満で飛び抜けて高い。

地域別にみると、「魅力を感じる」割合は、「北陸・甲信越」「九州・沖縄」「東北・北海道」で相対的に高い。

図 2-3-3 観光地としての魅力



d. 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

名古屋に観光地としての魅力を感じない（158 人）理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が 52.5%と最も多く、次いで「魅力ある観光施設が少ないこと」が 39.2%となっている。

表 2-3-4 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由（3 つまで回答）

		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと（観光施設の閉館時間が早いことなど）	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体		52.5	17.7	5.7	39.2	12.7	5.1	10.1	3.2	5.1	3.8	5.1	9.5
性別	男性	54.8	17.9	8.3	46.4	13.1	3.6	9.5	3.6	4.8	3.6	7.1	4.8
	女性	50.0	17.6	2.7	31.1	12.2	6.8	10.8	2.7	5.4	4.1	2.7	14.9
年齢	20 歳未満	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20 歳代	46.9	25.0	15.6	50.0	6.3	3.1	12.5	3.1	0.0	3.1	3.1	6.3
	30 歳代	37.9	17.2	10.3	13.8	13.8	10.3	17.2	0.0	6.9	3.4	3.4	13.8
	40 歳代	47.8	13.0	4.3	39.1	8.7	0.0	0.0	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3
	50 歳代	70.8	20.8	0.0	50.0	25.0	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3
	60 歳代	59.3	7.4	0.0	48.1	11.1	3.7	11.1	7.4	14.8	0.0	7.4	11.1
	70 歳以上	60.0	15.0	0.0	40.0	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	10.0	10.0	15.0
居住地	東海	62.1	13.8	3.4	48.3	27.6	3.4	17.2	3.4	10.3	0.0	6.9	3.4
	関東	58.6	15.5	5.2	41.4	6.9	3.4	3.4	5.2	5.2	5.2	5.2	8.6
	近畿	44.0	16.0	4.0	44.0	8.0	8.0	12.0	0.0	0.0	4.0	4.0	8.0
	北陸・甲信越	40.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	東北・北海道	55.6	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	中国・四国	38.5	38.5	15.4	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
	九州・沖縄	42.9	14.3	0.0	35.7	7.1	7.1	14.3	0.0	14.3	14.3	7.1	14.3

(4) 観光振興について

①なごや観光ルートバスについて

a. なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要な観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス（メーグル）を「利用したことがある」割合は2.8%と僅かである。「知っていて、利用したい」

(3.3%)と「知っていはいたが、利用したいと思わない」(4.3%)を合わせても認知度は10.4%と1割程である。また、「知っていて、利用したい」

(3.3%)と「知らなかったが、利用したい」(57.0%)を合わせた今後の利用意向は60.3%と6割を超えている。

利用意向に着目すると、30歳代～40歳代、60歳代以上で割合が高い。地域別にみると、「東北・北海道」で利用意向のある割合が比較的高い。認知度は、一番高い「東海」でも19.4%と、まだ十分に周知はされていない。

図 2-3-4 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

